

第１回専門部会の議論を踏まえた主な論点について（提言に向けて）

１ ICTを活用した教育の推進について

（１）ICTを活用した主体的・能動的な学習の推進

ICT環境を効果的に活用し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に繋げるため、どのような取組を進めていくべきか。

【第１回部会での関連意見】

- ・ 全国学力・学習状況調査の分析によると、本県は上位層が伸びていない。
- ・ デジタルデバイスの導入により、生徒の主体性・能動性を尊重しやすくなる。
- ・ ICTの活用により、生徒一人一人に目が行き届く授業が可能となる。
- ・ ICTの効果的な活用による、生徒が主体的に考え、解決方法を見出していく授業スタイルへの改善。
- ・ （特に小規模校における）ICTを活用した学校間交流の推進
- ・ Google for Educationの導入は、画期的で素晴らしい取組である。国の政策に振り回されることなく、ICT活用を推進してほしい。

（２）ICTの効果的な活用に係る家庭との連携

ICTの効果的な活用に係る家庭との連携に向け、どのような取組を進めていくべきか。

【第１回部会での関連意見】

- ・ 親世代のICTに関する意識が高まらないと、子どものICT活用は進まない。
- ・ 本県の親世代は、ICTに対する意識が低く、子どもの教育の質の低さに繋がりがかねない。

（３）ICTを活用した授業を行う教員への支援

教員がICTを活用した質の高い授業を進めるための環境づくりについて、どのような取組を進めていくべきか。

【第１回部会での関連意見】

- ・ 教員の端末は、高い性能が求められる。生徒の端末と同性能では、不十分。
- ・ 教員のICT環境を整えて、能力や可能性を引き出すことも大事。
- ・ 教員が探究型授業で新たな取組を行うためには、教材開発費が必要ではないか。
- ・ 教員同士の情報交換の中から出てきたインフォーマルなものの方が面白くて使い

やすい場合もある。様々な先進事例を収集し、発信することが大切。

(4) 教育におけるDXの推進

教育におけるDXを推進するため、どのような取組を進めていくべきか。

【第1回部会での関連意見】

- ・ 教員の指導方法をAIで解析し、データ分析を行ってはどうか。
- ・ 今後、教育データの利活用が進むと思うが、収集には時間が掛かるので、今から積極的にデータを採っていくことが大事。

(5) デジタル人材の育成

デジタル技術を活用してこれからの社会で活躍できる人材を育成するため、どのような取組を進めていくべきか。

【第1回部会での関連意見】

- ・ 生徒が、実際に企業でどのようにデジタル技術が使われているのかを知るため、インターンシップを行ってはどうか。

【今年度の関連事業】

- ・ ICTを活用した秋田の教育力向上事業（義務教育課） **概要P27**
- ・ 高等学校学習環境等整備事業（高校教育課）
 - > e-AKITA ICT学び推進プラン事業
- ・ デジタル教育 未来へRUNプロジェクト事業（高校教育課） **概要P34**
- ・ 教育的ニーズに応じた特別支援学校施設等整備事業（特別支援教育課）
- ・ “あい”で見守る！あんしんネット構築事業（生涯学習課） **概要P39**

【関連する県計画等】

- ・ 秋田県学校教育ICT活用に関する指針
- ・ 秋田県DX推進計画

2 県内高等教育機関との連携について

県内高等教育機関との連携・協働の強化に向け、どのような取組を進めていくべきか。

【第1回部会での関連意見】

- ・ 秋田大学に対してどうあってほしいのか、県からメッセージを出してほしい。各学部長との懇話会の開催など、県と大学との距離を縮める取組を行ってほしい。
- ・ 高校生に、大学に対する興味・関心を持ってもらうため、大学の授業を一部でもよいので配信する取組を行ってはどうか。

【今年度の関連事業】

- ・ 教職員研修の充実（義務教育課）
- ・ 秋田を支える人づくり教育推進事業（高校教育課） **概要P30**
 - ＞ 地域人材を活用した「キャリア設計e-ラーニング」
- ・ デジタル教育未来へRUNプロジェクト事業（高校教育課） **概要P34**
 - ＞ 専門高校におけるデジタル人材の育成
- ・ AKITA英語コミュニケーション能力強化事業（高校教育課） **概要P35**
 - ＞ イングリッシュキャンプ

【関連する県計画等】

（特になし）

3 教員の働き方改革について

教員の多忙化を防止し、自らの意欲と能力を最大限に発揮しながら働くことができる環境を整備するため、どのような取組を進めていくべきか。

【第1回部会での関連意見】

- ・ 校務の情報化が進むと、授業のICT活用も進むと思われる。
- ・ 秋田県は文武両道を実践しており、大会では敗者復活戦もあり、諦めない心も育てている。学校体育や運動部活動の充実に向けた取組に今後も力を入れていくことは賛成。
- ・ 色々なスポーツに、それぞれ面白さがある。子どもたちのニーズを大切にしながら、好きなスポーツに向かっていく心を育てていくことが大切。

【今年度の関連事業】

- ・ 統合型校務支援システム導入等推進事業（教育庁総務課）
- ・ 生徒指導総合支援事業（義務教育課） **概要P28**
 - ＞ スクールカウンセラー、広域カウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置
- ・ 豊かな学びと新しい生活様式のための支援員配置事業（義務教育課） **概要P29**
 - ＞ 学習指導員、学校サポーターの配置
- ・ 運動部活動活力アップ支援事業（保健体育課） **概要P45**
 - ＞ 運動部活動指導員配置事業
- ・ 秋田県地域運動部活動推進事業（保健体育課）

【関連する県計画等】

- ・ 2021教職員が実感できる多忙化防止計画